



笑顔あふれる常盤小学校



笑顔とあいさつ、歌声あふれるわが母校

学校教育目標 「かしこく やさしく たくましく」 ～生きる力・夢見る力の育成～

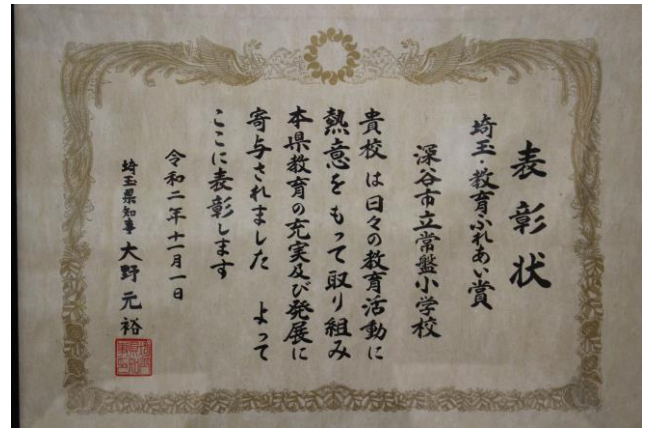
児童数 男子340名 女子330名 計670名 TEL 048-571-4923



深谷市立常盤小学校長 白井 裕一

児童の資質向上を図った食育研究

冷え込みが増してきたこの頃、慌ただしい年の瀬を迎えました。本校では、令和元年度・2年度の2年間深谷市教育委員会から研究を委嘱されて研究主題を、「生きる力と夢見る力をはぐくむ食に関する指導の研究～東都大学・JAと連携した取組～」と設定し、総合的な学習の時間と特別の教科道徳、学級活動、家庭科を中心に研究に取り組みました。令和2年度は、埼玉県小中学校食育指導力向上授業研究協議会会場校に選定されて、



県学校給食会の令和2年度生きる力をはぐくむ食に関する指導モデル校等支援事業におけるモデル校としての研究委嘱を受けて、授業研究も重ねてまいりました。

研究主題を「生きる力と夢見る力をはぐくむ食に関する指導の研究」といたしました。食育は、子供達が、夢や希望をもって生きていくための源となる重要な教育と考えたものです。豊かな食を実現するために、「こだわらず、とらわれず、かたよらず」を重視しました。般若心経の一節ですが、こだわりと過去の食の経験のみにとらわれることを克服し、かたよった食にならないよう子供達の体験に基づく主体的な学びを中心に据え、自ら気付いたこと、感じたことを基に、調べたり発表し合ったりしてお互いに刺激し合いながら食に係る深い学びができるよう工夫しました。研究を進めるに当たり、東都大学とJA深谷との連携を根底に据えました。親父の会や野菜の先生等地域の皆様にもお力をお借りして食に関する指導の研究を進めた結果として、「埼玉・教育ふれあい賞」に表彰され、さらに、11月18日、研究発表を開催することができました。関係のみな様に心から感謝いたします。

研究発表では、3-3と6-1、4年生代表が研究授業を行ったところ、児童の真剣に学ぶ様子を高く評価していただきました。研究を通じ児童は、食に関する体験を基に気付いたこと、感じたことを伝え合いながら、こだわらず、とらわれず、かたよらず豊かな食を実現するための資質・能力を身に付けることができました。児童の深谷の食に対する興味関心が高まったことが最も大きな成果です。学校といたしまして、児童が生涯にわたって豊かな食を実現できるよう、ご家庭と地域の皆様との連携を図って、一層研究を深めてまいりたいと存じます。どうぞよろしく申し上げます。

最後に、研究は、本校の先生方の総力で行われたものです。今日のために時間と労力をかけ、全員が自分の持ち場で求められる以上の仕事をしてくださいました。その集大成として、児童の資質・能力の向上を図れたことを校長として誇りに思い、敬意を表する次第です。